

荒土町ジオツアー



7/8(日) 荒土町伊波

勝山市 エコミュージアム ニュース 平成30年度の取り組み



遅羽町ジオツアー

勝山市エコミュージアム協議会では、平成27年より勝山市内各地区のおすすめコースを作成し、現地をまわるジオツアーを開催しています。歴史的な背景や地形、地質との関係を学び現地に立つとその時代の人々を想像し身近に感じることができます。

10/27(土) 三室山山頂

【ジオツーリズム支援事業】



1-1 勝山市ジオパークガイドの会

スノーシューで森探検

スノーシューを使ったツアーを企画しましたが、今年は雪が少なく残念ながら長靴でのツアーになりました。きれいな霜柱や冬を生きぬく動物たちの暮らしぶり、山の成り立ちや歴史を楽しみながら森の中を探検しました。

【ジオサイト保護・保全事業】



2-1 むろこ女性の会

むろこジオcafe勝山ジオ巡り(平泉寺方面)

ジオcafeも30回目。今回は大矢谷大岩や池ヶ原湿原、檜ヶ壁や筥の渡しでジオの成り立ちなどを学びました。仲間がガイドを努める箇所もあり、頼もしく勝山を再発見するツアーとなりました。まほろばでの和綴もいい体験でした。



2-2 谷はやし込み保存会

ほおまま会

春は、谷の伊良神社にて「ほおまま会」を行います。住民の少ない村でほおばの葉、山菜採り、煮炊きと、大変ですが、大勢の人に協力していただきほおまま、山菜の煮つけを作ります。盛大に行われ、大変感謝しています。



2-3 まちづくり・むろこの会

村岡山登山道の復旧作業

今年度は、豪雪により被害を受けた村岡山の復旧作業を行いました。雪の影響により外れた看板を針金でしっかりと固定し直し、登山道を塞ぐように倒れていた大きな木を撤去することで、安全に登山ができるようになりました。



2-4 鹿谷町まちづくり協議会

第7回セイタカアワダチソウ駆除大作戦

例年9月末に行う外来植物の駆除活動を福井国体前の9月1日(土)に勝山IC周辺で行いました。当日はあいにくの雨にも関わらず、町内外から約90人のボランティアが集まり、国体選手やスタッフを迎え入れる準備ができました。



2-5 荒土町ふるさとづくり推進協議会

炭焼き

今年は930kg程の木炭を生産しました。出来上りを待ち遠しく思う人もおり、「火の持ちが良い」「丁寧で安心感がある」とのお声を頂き、私達の励みとなっております。荒土の炭でなければいけないと皆様感じて頂けるよう、これからも日々精進していきたいと思えます。



2-6 勝山北部中学校生徒会

PTA親子行事による九頭竜川清掃

例年PTA親子行事として九頭竜川清掃を行っています。今年度は1～3年合同で実施しました。空き缶やペットボトル、タイヤやパイプのような硬質ゴミもありました。これからも清掃活動を継続し、勝山をより美しい町にしていきたいと考えています。



2-7 遅羽町住民協議会

バンビラインハイキング

4月8日の「カタクリまつり」にあわせての開催でしたが、今年は17年ぶりの雪でハイキングは中止となりました。春はもちろん秋の紅葉も美しいハイキングコースを守るため、夏と秋に草刈りと枯木の伐採などを行いました。(平成31年は4月14日(日)に開催予定)



2-8 北郷町まちづくり協議会

北郷町遺産の保全活動

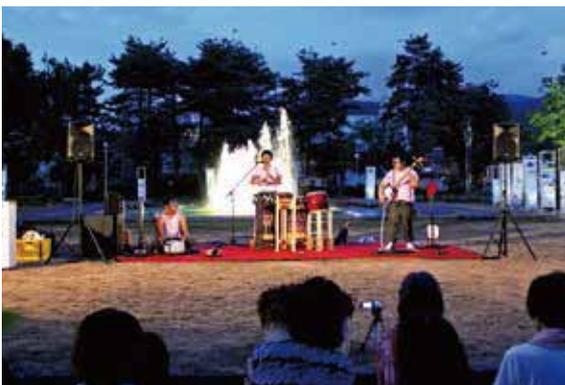
北郷町遺産の保全活動の一つとして、畝見川清掃を行いました。畝見川に生息するホタルやバイカモを保護・保全するため多くのごみや雑木・草等を引き上げました。北郷町に訪れる方々にも北郷町の遺産を知っていただくためこれからも保全活動を継続していきたいです。



2-9 平泉寺町まちづくり推進協議会

白山平泉寺参道燈明プロジェクトVII

今年で7回目となる白山平泉寺参道燈明プロジェクトVIIになりますが、今年はいつもと少し違った形でやりました。今までは竹で燈明を作って行きましたが、それも残しつつLEDライトも入れてみました。



3-1 沢山会

体験学習(稲刈り)、地産地消、後継者育成

今年も成器西小学校5年生に田植え、稲刈りの体験学習を実施しました。初めての子供が多く田植えでは泥んこになって喜んでいる子供もいました。また、稲刈りでは鎌の使い方を知らない子供が多く、初めに鎌で稲を刈り取る方法を教えました。この稲は何という品種ですかと質問をする子供や、1本の稲から何粒のコメが取れるか数えている子供もいました。子供の作った米の自然環境の大切さを説明し、給食で食べてもらい学校からも大変勉強になったと喜ばれました。

3-2 公益社団法人 勝山青年会議所

創立50周年記念事業

創立50周年記念事業としてバドミントンラリー世界記録123球に市民140名で挑戦しました。開会式では山口茜選手からビデオレターで激励をして頂きました。好調な打ち合いが続いたものの60回目でラケットが空を切り挑戦が終わりました。

3-3 NPO法人 まちづくりのむきの会

気候風土に合った作物収穫体験活動

ジオパーク教育普及事業として「気候風土に合った作物収穫体験活動」を実施しました。野向町の気候風土に合った作物の収穫体験や地域資源の保全活動を通して、作物とジオとの関係を学習し、野向町の良さを発見しました。

4-1 恐竜の里 食を考える会

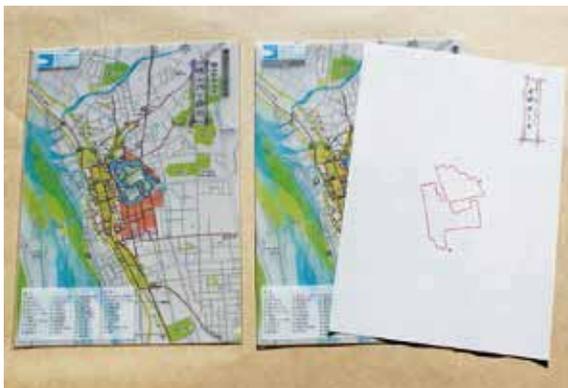
北谷地区の食材でおはぎとほお葉めし作り

当会では地産地消を心掛け、広く北谷の食材に関心を持ってもらえるように努めています。今回は、北谷産の食材でおはぎとほお葉めしを作りました。ほお葉も北谷自生のものを使い、幾昔を懐かしみながら皆で頂きました。

4-2 せいぎ灯りまつり実行委員会

子どもたちの灯りまつり「行灯のひかり」

勝山の夏祭り「灯りまつり」にあわせ、勝山地区の中心部が少しでも賑やかになればと、中央公園に地区の小学校全児童489人の絵や川柳の作品で行灯のひかりを演出し、和楽器やチェロ演奏で盛り上がりました。



5-1 勝山地区まちづくり協議会

クリアファイル

藩政時代の名残をわずかに残す勝山地区。当時と現在の地図を同時に見ることができるようクリアファイルを作製しました。地図には「高札」を模した歴史の道を説明する案内板30か所の場所も印刷されており、町中散策にも活用できます。

5-2 猪野瀬まちづくり推進協議会

いのせウォーク

5月20日（日）、住民の健康増進と交流、地域理解をめざして「いのせウォーク」を実施しました。今回は約40名が猪野瀬の名所や神社などを訪ねて約3時間歩きました。最後は皆で筍の炊き込みおにぎりや冷やしぜんざいを味わいました。

5-3 勝山恐竜研究会

金の採集 将来は勝山で!!

平成30年6月に丸岡町在住の松本健一氏の指導のもと美山町足羽河原で金の採集を行いました。参加者全員が見つめることができました。「どういう場所で採集できるのか」「どうしたら取り出せるのか」を学びました。これからは、勝山で挑戦したいと思います。

5-4 NPO法人 白山エフエム

企業PRビデオ制作

某企業さまからご依頼があり、企業PRビデオの制作に取り組みました。専門性が高く幅広いお仕事内容を、第三者目線で分かりやすく伝えられるように担当の方と協議を重ねていきました。目的を意識しながら分かりやすく魅力的に伝えることの難しさと、完成時の達成感は、これまでとはまた一味違うものでした。

5-5 縄文の里料理研究会

郷土料理なら「縄文の里」へ

福井ふるさと茶屋「縄文の里」が地域の交流の場として、郷土料理を楽しめる店として4月8日にえちぜん鉄道勝山駅近くにオープンしました。季節の地場野菜を中心に作った、昔ながらの優しい味付けにした伝承料理を用意しております。また、季節に合わせて勝山で採れた山菜や野菜などの物販もしております。定休日 水曜日 営業時間午前10時から午後4時迄（ご予約の方については、営業日、時間共に随時相談可）



5-6 片瀬銭太鼓保存会

荒土町敬老会アトラクション出演

荒土町敬老会がJA中支店の大舞台で開催され、本保存会が初めて招待されました。「片瀬豊年ばやし」の曲に合わせたバチさばきと昔の稲作演技を満喫していただいたとの返事をもらい、他地区での出演に向けての意欲が湧きました。

クラブ

5-7 スイーツ食愛かつやま

菜織菓子（しふおん）とバラジャムセット

勝山市ふるさと納税返礼品として、ハーブガーデン空のテラスのバラジャムとシフォンケーキを詰め合わせた商品を作りました。バラジャムは、法恩寺山の麓で栽培した勝山産バラを使用、シフォンケーキも、勝山産野菜・果物を使用という共通点があり、コラボする事になりました。

5-8 NPO法人 せいきコミュニティスポーツクラブ

人生100年時代へ！1に運動

平均寿命が毎年更新されていく現在、人生100年時代はそう遠くはありません。長い人生を謳歌するには、お金も必要ですが、もっと大切なのは健康な体です。そのためには運動をし、栄養バランスの良い食事を摂り、睡眠をしっかりとることです。これを広めるために様々な活動を展開しています。

5-9 勝ち山ボッカケ連盟

鮎ボッカケのふるまい

勝ち山ボッカケ連盟は、平成30年度勝山産業フェア会場において午後2時から恒例の「九頭竜鮎ボッカケ」のふるまいを行いました。九頭竜鮎ボッカケは、素焼きした子持ち鮎のほぐし身と生姜を具材とした醤油味の炊き込みご飯に、カツオベースの出汁をかけた創作ボッカケです。開始30分前から行列ができ、用意した200食は20分でなくなり大盛況のうちに終わることができました。

5-10 いのせボーンくらぶ

猪野瀬町民運動会

私達いのせボーンくらぶは猪野瀬地区の運動会を盛り上げるためにおかずやおやつ、つまみになる商品を販売しました。親子連れや孫を連れておばあちゃんがほほ笑みながら買ってくれました。私達売り手も楽しい運動会になりました。

15分研修

会議の前の15分を利用して会員のスキルアップを図りました

「ドローン撮影について」

日時 平成30年7月3日(火)
講師 西田和史氏、笠川康平氏



念願のドローン研修という事で多くの方に参加いただき楽しい研修になりました。恐る恐る操縦したドローンは思いのほか、うまく飛び、調子に乗って宙返りまでやってしまったら、講師の先生の顔が引きつってしまいました。各団体のイベント等の記録に活用できるいいツールだなと感じました。

「勝山市の水道について」

日時 平成30年10月11日(木)
講師 上下水道課 春木博治氏



日々の生活の基本条件である水は、ライフラインとして最も重要なものであり、ジオ的にも持続可能な人々の営みの根本にあるものということから、全体会の取り組みテーマとして市の上下水道課の説明を受けながら研修を行いました。市内には水源が9箇所と配水池が24箇所あることや、各ブロックの構成内容や、水道施設の概要について学びました。中でも一番驚いたのは、給水管の全延長が27万8千kmにも及ぶことで、施設と併せて日々の水質管理や監視体制、メンテナンスがとても大変且つ重要であることがよく理解でき、とても有意義な研修だったと思います。



「水道水を探ろう」



11/25(日) 自然環境部会主催

自然環境部会 部長 小林 則 夫

人々が生活していく中で「水」ほど大切なものはありません。しかし、私たちは勝山の水道について何も知りません。そこで勝山の水道水について訪ねまわりました。

水道の水源地には多くの井戸があり、深さ約100m近くから地下水をくみ上げ、消毒され各家庭に配水されています。また立川水源地には上水道管理センターがあり、市全体の上水道がパネルに表示され、タンクの貯水量が一目でわかり、自動管理されています。また、谷川から直接導水されている法恩寺配水池には膜ろ過機があり、消毒されて浄土寺調整池に入り市内へ配水されています。このようにして水道水が各家庭に配水されているのがわかりました。今後この水道水を大切に使用するよう努力をしましょう。



立川上水道管理センター



法恩寺ろ過機



7/8 (日)

第6回ジオツアー

荒土の自然・産業・歴史遺産とジオ探訪

自然・産業・歴史遺産めぐりツアーを行いました。

壇ヶ城跡、堀名銀山、石灰山の窯跡、温川の梅花藻コース約4.5kmを、ポイントごとに地元のガイドの説明を聞きながら約2時間半をかけて徒歩で行きました。あいにくと天候が悪く、数億年前の九頭竜川の赤岩垂層群と鮎釣りの拠点コースを外したのが残念でした。



温川の梅花藻



石灰山の窯跡

10/27 (土)

第7回ジオツアー

遅羽町の魅力いっぱいツアー

～縄文遺跡から報恩講料理まで～

10月27日に勝山市の学芸員、ジオパークガイドの会の説明を聞き、縄文遺跡等資料室、三室山、下荒井トンネル、比島の渡しなどをめぐるツアーを開催しました。ツアーの最後は、専勝寺で報恩講料理をいただきました。遅羽町は見所いっぱい、お腹もいっぱい、魅力いっぱいです。



旧下荒井トンネル前



報恩講料理

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク(新潟県)に行きました!

期 日：平成30年8月18日(土) 参加者：15名

午前6時20分勝山市役所を出発し、3時間半ほどで到着した糸魚川駅でガイドの渡辺氏と合流。よくしゃべるといふより落ち着いたソフトな印象の方で、「もっと聞きたい」と思わせるガイドについて改めて考える機会となりました。

私が感じた糸魚川と勝山との違いはまず統一感です。ジオサイト間に距離があつて移動に乗り物が必要なのは同じですが、どこにも同じのぼりがあり、それぞれが地域に誇りを持ち、同じテーマのもとに協力してジオパーク活動をしているように感じました。アクセスの良い糸魚川駅に拠点があつて、ジオパークの情報が手軽に得られるのも魅力です。形が統一されて見やすいサイトごとのパンフレットがあり、つい全種類集めてみたくなりました。ヒスイも恐竜化石も宝探しのような感覚が似ています。勝山もこれからまだまだ磨きをかけ、魅力的なジオパークになっていけると思えます。

勝山市ジオパークガイドの会 川田 香菜子



各種パンフレット



フォッサマグナパーク



高浪の池



ジオサイト看板
・のぼり



ジオガイド 渡辺 久氏

香港ユネスコ世界ジオパーク(UGG)の魅力とジオパークの活動について

期 日：平成30年6月28日(木)

場 所：勝山市教育会館

講演者：ヨン・カミン(楊家明) 博士

香港UGGの代表であるヨン・カミン博士から香港UGGの魅力や事例の紹介そしてジオパーク活動で大切な事などを話していただきました。また、勝山のまちづくり活動についても次のようなアドバイスをいただきました。

- 焦らず一歩ずつ準備をしていくこと。
- 何度も地元の人達と話し合い、当地が素晴らしい所だと納得してもらうこと。
- 観光プロジェクト、資金、人材の面からも市内10地区をすべてプロモーションしても混乱する。同時に売出しするのは難しい。まずどこを売り込むか。磨きをかけるところを絞り込むこと。



公益社団法人 勝山青年会議所 セミナー 「SDGsを学びジオを考える」



期 日：平成30年9月9日(日)

場 所：勝山市教育会館

講 師：河上伸之輔氏

9月例会でSDGsセミナーを開催しました。SDGsとは国連で採択された「持続可能な開発目標」であり、持続可能な世界を実現するための17の多様な目標が掲げられています。約50名の方にカードゲームを使い楽しく学んで頂きました。「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するゲームで、参加者からは、経済、環境、社会のつながりを実感できたと感想を頂きました。